

# 大雪に備える

毎年、降積雪期になると雪が少ない地域でも路面凍結や積雪による交通事故、歩行中の事故などが発生しています。雪害に遭わないために雪に対する備えや対策をしておきましょう。

## 除雪時の装備例



※こまめな休憩・水分補給も忘れずに。

## 転倒事故にご用心

凍結・積雪による転倒事故に遭わないために、滑りやすい場所を確認しておきましょう。

- 横断歩道の白線
- 車の出入りのある歩道
- 日中でも日が当たらない場所
- バス、タクシー乗り場 など

滑りやすい場所でも安全に歩くために、「小さい歩幅で靴の裏全体を路面に付けて」歩くようにしましょう。

転んだときの怪我予防として、帽子をかぶる、手袋をするなど、身に着けるものを工夫するのも安全対策のひとつです。

## 雪が降る前に準備しましょう

- 雪の重みでテラスやカーポートが倒壊しないための対策。
- 竹や樹木が雪で道路に倒れ込まないように剪定するなどの手入れ。
- 冬用タイヤやタイヤチェーンの用意（車の除雪道具も忘れずに）。
- 停電や外出が困難になってしまった場合のための備蓄（左記の表を参考に）。
- 自宅の庭や道路の除雪を行うための装備（上記の写真を参考に）。
- 滑りにくい靴や防寒手袋など外出時に必要となる装備品。

## もしものために 自宅に備蓄しておくもの

自宅に必要な物資を備蓄しておけば大雪以外の災害時にも活用できますので、各家庭で備蓄しておきましょう。

- 食料（3～7日分）  
（レトルト食品、缶詰、調味料、スープなど）
- 飲料水（1人あたり1日3Lを目安に）
- カセットコンロ、燃料
- 電気に頼らない暖房器具、燃料
- 乾電池式ラジオ、懐中電灯、携帯電話充電器
- 予備の乾電池
- マッチ、ライター、ろうそく
- 使い捨てカイロ
- 紙おむつ、粉ミルク、常備薬 など

問合せ ▶ 困危機管理課危機管理係（☎内線1131）